

月刊 かわごえ環境ネット



2019年7月号 No.153

<https://kawagoekankyo.net>

2019年7月1日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

夏の郊外クリーン活動（7月21日）



2018年の活動の様子

7月21日（日）9:30-11:30に「夏の郊外クリーン活動」を「川越市民聖苑やすらぎのさと」周辺で行います。（詳細 12,13面）

エコプロダクツ川越2019（8月4日）



2018年の出展の様子

8月4日（日）10:00-15:00に環境プラザ「つばさ館」（川越市鯨井782-3）において開催される夏休みの恒例イベント「エコプロダクツ川越2019」に、会員団体と共同出展します。（詳細 14面）

目次

コラム	社会環境部会から提言（7）温暖化対策の一環としての緑のカーテン	2
	川越の自然をたずねて（76）寺尾調節池2019	3-4
	川越の「宝」をたずねて（2）伊佐沼公園「冒険の森」	4-5
報告	かわごえ環境ネットの活動（4題）	5-8
	会員の活動（3題）	9-10
	理事会・専門委員会（3題）	10-12
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事（7題）	12-15
	会員・関係団体の主催・関連行事（7題）	15-18
	広報委員会からのおしらせ	18-19
	イベントカレンダー（7月3日～8月17日）	20



【コラム】社会環境部会から提言（7）温暖化対策の一環としての緑のカーテン



東側の緑のカーテン

梅雨の季節となりましたが、梅雨もすっかり様変わりしてしまいました。50～60年前は梅雨と言えば、しとしとと毎日続き憂鬱だったことを懐かしく思い出しています。これも作物のために必要なことだとあきらめていましたが、今では真夏日になったかと思えば急に寒くなり、雨が降ればどしゃ降りやひょうまで降り、梅雨の季節とは思えない天気の変化で、農家の人には厳しくなっています。年々変化が激しくなっているように感じ、体調が付いていけなくなり、水による災害がテレビのニュースで流れています。

目には見えないけれど毎年少しずつ温暖化が進み、暮らし難くなってきていることが肌身を通して感じる毎日です。

個人としてできる温暖化対策は微々たるものだと思いますが、嘆いているより少しでもできることをやるしかないようです。

今年は特に暑くなりそうなので、今一度、緑のカーテンを見直してみませんか。私は毎年、東、南、西の窓にパッションフルーツでの緑のカーテンで楽しんでいます。実際に室内温度を下げるのと目で感じる清涼感に満足して病みつきになっています。毎年、エアコンの稼働は10日に満たないくらいです。

緑のカーテンとして、パッションフルーツは秀でていると思っています。繁殖力の強さ、多年草なので葉が枯れて落ちることはない、消毒



収穫した実

の心配がないなど最適だと感じています。

花もきれいで、何より香りが大好きです。花が咲けば匂いでわかるくらいです。

実は、緑から紫に変わる変化を鑑賞でき、最後においしくいろいろと堪能でき、満足しています。ジャムやゼリーなどおいしいと好評いただいています。

4～5個収穫できれば、簡単にゼリーとしておいしく食せます。

ぜひみなさんにもパッションフルーツのよさを実感していただきたく、緑のカーテンをお勧めします。

社会環境部会としても、今年は4月の苗配り、6月の育て方、8月の挿し芽と3回にわたり講習会を実施しております。

今年は、初めて観賞用の鉢植えとし、育て方、増やし方の講習会としました。来年度は講習生が緑のカーテン用に多くの苗を育ててくれることに期待を込めております。何事も趣味と実益が伴わないと長続きしません。果実を収穫できた喜びは栽培した者しか味わえません。

単なる緑のカーテン用でしたら、実生で簡単に増やせ役目を果たしますが、残念ながら2～3年花が咲きません。楽しみが半減しますので挿し芽の方がお勧めです。緑のカーテンでの温暖化対策、植物に関心のある方は、ぜひパッションフルーツで一度体験して見てください。はまること間違いのないと思います。（井口吉三郎）

【コラム】川越の自然をたずねて (76) 寺尾調節池 2019



アレチウリ

新河岸川の土手の内側に繁茂する。現在は調整池水門の付近に多い。他の植物に覆いかぶさって成長し、長さ30m以上になることも。



ブラジルチドメグサ

水草として海外から持ち込まれ、自然界に出てしまったもの。調節池南西の流水近くで繁茂。現在は10m四方ほど。



オオカワヂシャ

調節池南東流水付近、川崎橋橋梁下付近。それほど繁茂はしていない。



ヤセウツボ

ハマウツボ科の植物で牧草の移入に伴って入ってきた。寄生植物で主にマメ科セリ科の植物の根に寄生する。ここではアカツメクサについているようだ。



キショウブ

一見すると日本古来の植物のようだが明治以降の外来植物。日本古来のアヤメ、ショウブ類、との交雑が危惧されていて要注意外来植物に指定されている。



ナヨクサフジ

5月には新河岸川、寺尾調節池の土手を覆うように茂っている。面積で比べるとネズミムギ以上に繁茂し、土手が紫がかってみえる。

5月10日9時より有志による寺尾調節池付近の生き物調査観察会を行いました。参加者は、私も含めて5名で、長年この地を調査されているKa氏、Mi氏、Moさん、昨年より参加されているKiさん、そして小生です。昨年5月にも同じような観察、調査を行い、報告を出していますのでそれに沿って報告します。

鳥類：オオヨシキリ、ツバメ、ムクドリ、ウグイス（声）、ハシボソガラス、スズメ、ドバト、アオサギ、ホオジロ、キジ（♂）、カワセミ、セッカ（声）

植物：ネズミムギ(2)、ナヨクサフジ(1)、ヘラオオバコ(2)、カラスムギ(1)、オオイヌノフグリ(1)、ギシギシアメリカフウロ(1)、ツルマンネングサ(1)、オッチカタバミ(1)、スギナ、キュウリグサ、コメツブツメクサ(1)、ノミノツヅリ、ハルジオン(2)、ハルノゲシ、ヤブジラミ、セイヨウタンポポ、(2)、エノキ、ヨモギ、ミドリハコベ、スカシタゴボウ、ヒルガオ、クコ、オヤブジラミ、ヤエムグラ、ナガミヒナゲシ(1)、オオフサモ(3)、ホトケノザ、ウシハコベ、オオジシバリ、ミゾソバ、ヤガミスゲ、オオ

スズメノカタビラ、ナズナ、オランダミミナグサ(1)、オオバコ、スズメノカタビラ、カキネガラシ(1)、スズメノエンドウ、アカツメクサ(1)、ヤセウツボ(2)、ユウゲシヨウ(1)、ハハコグサ、イタドリ、ヤブガラシ、アレチウリ(3)、ニワゼキショウ(1)、ノビル、オニノゲシ(1)、オオブタクサ(2)、クズ、ノイバラ、ケキツネノボタン、イヌムギ(1)、コガマ、セイタカアワダチソウ(2)、セリ、カナムグラ、ヨシ、ヤワラスゲ、メドハギ、チガヤ、サワグルミ、ミコシガヤ、シラスゲ、カラスノエンドウ、ヒエガエリ、サンカクイ、フトイ、オオカワヂシャ(3)、ノジシャ(1)、オランダガラシ(2)、ヒルザキツキミソウ(1)、ブラジルチドメグサ(3)、キショウブ(2)

その他：アメリカザリガニ(2)、ヌマガエル、メダカ
参考：国立環境研究所：外来生物データベース (<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/>) (1)：外来植物、(2)：要注意外来生物、(3)：特定外来生物

以上、新鷹匠橋付近、川崎橋の下付近、寺尾調節池散歩道、南西側の雨水が流れ込む場所の順に

種類別に確認した順に記述しました。昨年は6月で、カッコウの鳴き声が聞こえましたが、5月ではまだ来ていないようです、キジ、オオヨ

シキリは営巢している様子です。

昆虫類は、昨年と比べるとひと月早いこともあってトンボ類がいません。シジミチョウ類もヒゲナガガも個体数は激減しています。ひと月の差というよりは、各年の発生数のバラツキが大きいように思われます。

植物に関しては、新河岸川土手のり面、調節池土手のり面ともに外来種の個体数が圧倒的に多く、観察日にはほとんどの面積をナヨクサフジ、カラスムギ、ネズミムギに占有されていました。河川管理者の土手の保持、安全管理のため、年に1,2度草刈が行われ、日本古来の種類は、スギナ、イタドリなど数種類しか生育していません。

今回の確認種75種のうち、外来種(帰化植物を含む)(1)は17種類、要注意外来生物(植物)(2)は9種類、特定外来生物(植物)(3)は4種類、環境省が定める特定外来生物16種類のうち、実に4分の1がこの中に含まれています。アレチウリ以外は、占有面積は小さいです。また要注意外来生物(植物)(我が国の生態系に被

害を及ぼす可能性のある外来植物)9種類は占有面積が大きく、これからも増え続けると考えられます。

一昨年、ある人が講習で、ある地域の“自然度”を5段階で示そうという考えを提唱していました。その地域の植物群の種の数を数え上げ、外来種の割合を計算し、日本古来の生態系がどれだけ維持されているか数字で表示しようとするもので、今回の観察結果を当てはめてみると、外来植物種30種、全体の種数75種、 $30/75=0.4$ (40%)となります。日本古来の生態系の維持という観点からは、残念ながら大きくはずれています。これは季節的要因、占有面積など他の要素が入っていないのであくまでも参考資料です。

(松永裕一)

编者注:「要注意外来生物リスト」は、2015年3月に廃止されており、現在は「生態系被害防止外来種リスト」が作成されていますが、両リストは内容が異なるため、本稿は寄稿された原稿を尊重し、要注意外来生物をそのまま用いました。このことについての詳細は、環境省:日本の外来種対策「要注意外来生物リスト」(<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/caution.html>)をご覧ください。

【コラム】川越の「宝」をたずねて(2)伊佐沼公園「冒険の森」



伊佐沼公園「冒険の森」にあるさまざまな遊具

月刊かわごえ環境ネットの先月号(6月号)から始まったコラム“川越の「宝」をたずねて”は、3月3日に開催された第17回かわごえ環境フォーラム「かわごえカフェ 2019」のテーマ、「川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」で参加者のみなさんと作成した“川越のお宝マップ”の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は、伊佐沼公園「冒険の森」

関東で2番目に大きい沼の伊佐沼。その脇にある伊佐沼公園の一角に「冒険の森」がありま

す。冒険の森には、10種類以上のフィールドアスレチックがあり、週末には親子連れでにぎわうほど。幼少から小学低学年くらいの子どもたちが楽しめるアスレチックが数多くあります。川越のお宝として紹介してくれたのが男性の参加者。週末小さな子どもを連れて出かける場所を探したとき冒険の森を知り、行ってみたらとっても子どもが喜んだと紹介してくれました。伊佐沼公園は、冒険の森のほかにも、水遊びができるじゃぶじゃぶ池や芝生広場もあり、バー

ベキューをすることもできます。家族連れでお弁当持参のピクニックや、子育て仲間とバーベキューなど、親子でいろいろな楽しみ方ができる公園です。また夏になるとセミの抜け殻集めや虫遊び、秋のどんぐり広いなど、自然遊びや

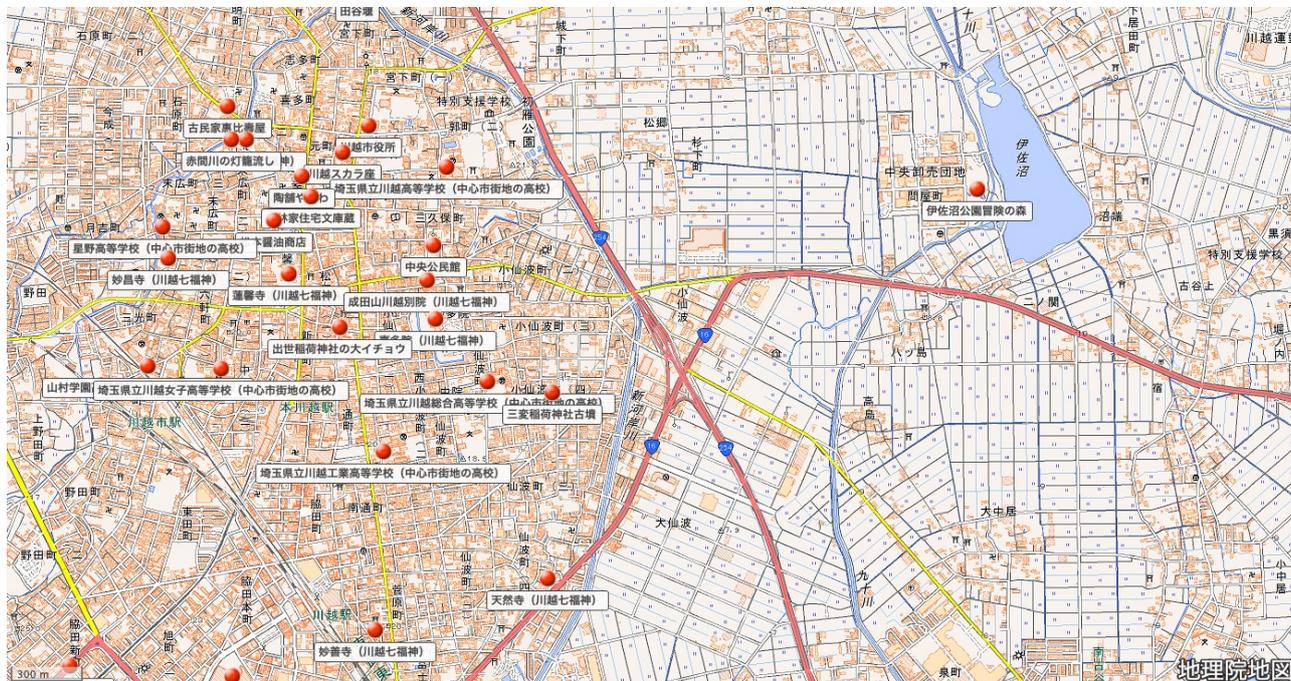
野鳥の観察にもお勧めの場所です。

伊佐沼公園：埼玉県川越市伊佐沼 584

西武バス「伊佐沼冒険の森」バス停下車

駐車場もあります。

(飯島希)



中心市街地と伊佐沼公園「冒険の森」の川越の「宝」マップ (国土地理院の電子地形図(タイル)に地点を追記して掲載)

【報告】かわごえ環境ネットの活動

「入間市環境まちづくり会議」講演会での講演 (5月25日)



入間市産業文化センターで開催された総会の様子

5月25日(土)、入間市環境まちづくり会議の総会後に行われた講演会において、講演を行ってまいりました。同会は、2001年7月に「市民、事業者、民間団体及び市が互いに協力しながら入間市環境基本計画を具体的に進めることで、私たちの身近な自然や環境を大切にすることを育み、環境にやさしいまち「入間市」を築いていくことを目的」(会則の第2条「目的」を抜粋)とした任意団体です。

会員は400名を超えており、「運営委員会」と「地球温暖化防止部会」を持ち、実行委員会と

共催による「いるま環境フェア」の開催など環境情報提供・環境学習事業、「エコライフDAY」や「環境ウォーキング」「ごみひろい隊」などの環境活動推進事業、イベントや啓発事業への参加による推進事業、会議・広報運営事業といった活発な活動が行われています。

総会を傍聴しましたが、51名という多くの参加者と活発な質疑があり、かわごえ環境ネットの設立時の理念や活動が、同会ではそのまま続いているという印象でした。

私は、かわごえ環境ネットの現状と課題を語りました。19年近くの間、運営に携わってきた私の自己反省となりました。

(小瀬博之)

<参考資料>入間市環境まちづくり会議:令和元年度入間市環境まちづくり会議総会が開催されました (http://www.kankyo-iruma.net/16_event.html)

川の一斉水質調査：31か所を14名が調査（6月2日）



北公民館における水質調査の様子



左から南小畔川河南橋、小畔川吉田橋、入間川出丸橋

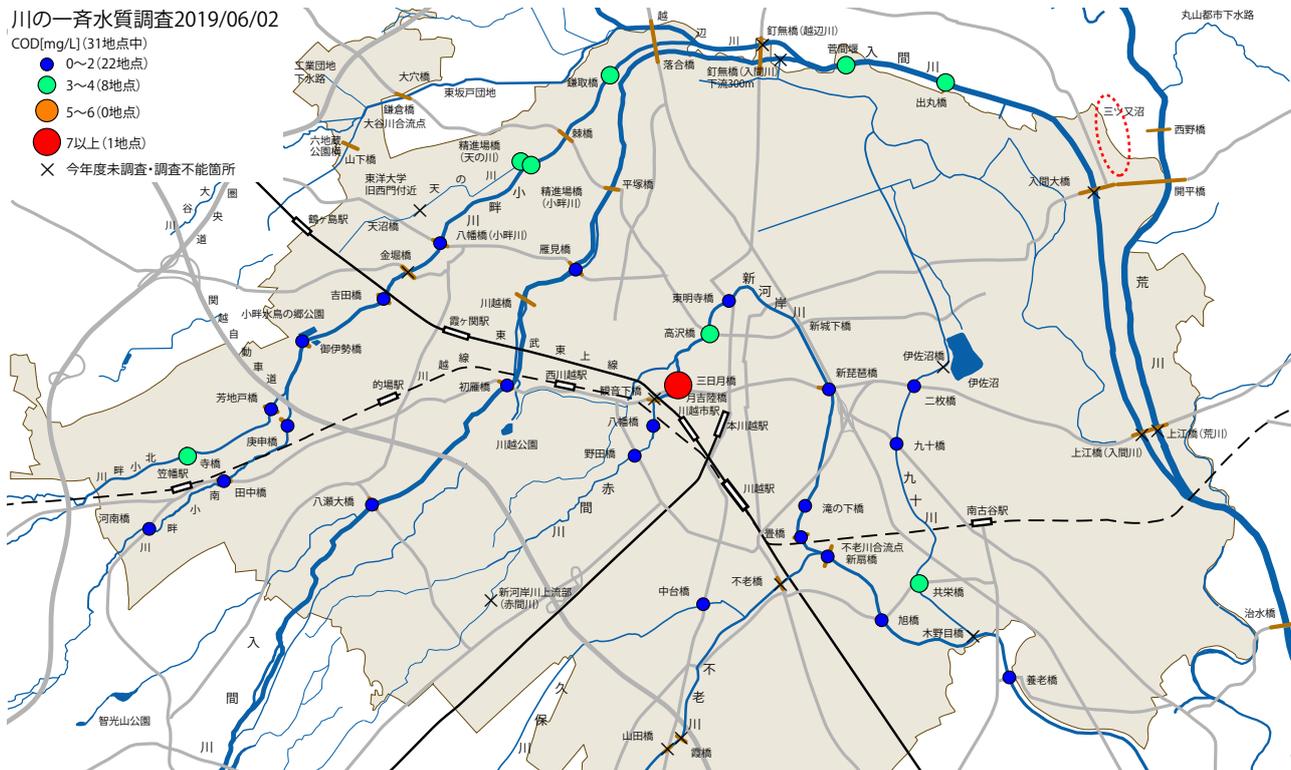
毎年6月第1日曜日が全国統一実施日の「身近な水環境の一斉調査」に参加する形で、本会では2005年度から川越市内において「川の一斉水質調査」を行っています。15年目の今年は、6月2日（日）午前14名の参加者が分担して31地点の採水と水質調査を行いました（不老川の2地点は水がないために採水できず）。

今年は、調査前にまとまった雨が降り、例年になく水質がよい結果となり、COD（化学的酸素要求量）の区分で0～2mg/Lが22地点（2018年は5地点）、3～4mg/Lが8地点（同13地点）、

川の一斉水質調査2019/06/02

- COD(mg/L) (31地点中)
- 0～2 (22地点)
 - 3～4 (8地点)
 - 5～6 (0地点)
 - 7以上 (1地点)

× 今年度未調査・調査不能箇所



水質調査結果（2019年6月2日）

5～6mg/Lが0地点（同5地点）、7mg/L以上が1地点（同6地点）となりました。

参考資料1)によると、BOD（生物学的酸素要求量）は、1984年の不老川不老橋では100mg/L程度でしたが2005年以降はおおむね5mg/L以下となっています。河川の環境は、CODやBODなどの水質的な要素だけでなく、ごみや色、匂い、生息する生物などさまざまな要素があります。水質だけでなく川の環境をトータルにとらえることも必要です。

過去の結果は、毎年の月刊かわごえ環境ネットの7月号あたりに掲載しています。バックナンバーをご覧ください²⁾。また、小畔川と入間川のデータをまとめている荒川流域ネットワークでは、過去のデータをデータベース化しています³⁾。ぜひご覧ください。（小瀬博之）

参考資料

- 1) 埼玉県環境科学国際センター：埼玉県の川の水は、昔に比べてきれいになっているのですか？ (<https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/cess-kokosiri/cess-koko25.html>)
- 2) 月刊かわごえ環境ネットアーカイブ (<http://kawagoe.kankyo.net/news/cat6.html>)
- 3) 荒川流域ネットワーク：時系列グラフ付水質調査マップアプリ (<https://app.arakawa-ryuiki.net/wq/>)



田んぼでの観察

今成小学校は、小ヶ谷の総合保健センターの近くで、南側には東武東上線、西側には入間川、その間はおおむね水田地帯なので、青々とした広い空間が臨めます。川越は川に恵まれているので、その周辺には田園地帯が広がっています。この一帯も、入間川の水を引いて古くから水田だったようです。しかしながら、次第に休耕田が増え、住宅や工場などに移り変わっています。水田に引く水も今は川からでなく、井戸水とのこと。これは川越のどこの水田地帯にも当てはまる状況でしょう。

今成小学校の先生から4年前に自然学習の要請を受けて始まり、今年は4回目になります。6月11日(火)の午前中、3年生2クラス60人ほどで田んぼの生き物探しの学習です。前日は本降りの雨でしたが、当日は、時折薄日の差す曇り模様で、実施できてよかったです。子どもたちは、それぞれに虫かご、網を持って、ニコニコと楽しそうな表情です。我々かわごえ環境ネットのメンバー6人と挨拶、畔を崩さないなどの注意のあと、田んぼに移動です。

いるいる、まずはオタマジャクシです。トウ



用水路で採れたもの



生きた化石 カブトエビ



視聴覚室での発表

キョウダルマガエルのオタマジャクシがたくさんいますが、逃げ足が速く、捕まえるのはけっこう大変そう。次に子どもたちが見つけたのがホウネンエビ。「上を向いて泳いでる!」「目がパッチリしてる!かわいい」、なかなか人気者です。ホウネンエビはおもしろい生き方をしています。田植えの終わった短い時期にわっと、現れて2週間ほどで産卵し終え、消えていきます。この時期に田んぼ学習を組んでいるのは、一つにはホウネンエビを見せてあげたいからです。慣行農法の水田にもいますが、どの田んぼにもいるわけではありません。いない田んぼの方が多いです。子どもたちはカブトエビも見つけました。すでに事前の学習でゲットしたいとねらっていたようです。数は多くありませんでしたが、数匹ゲットしました。今年は、傍の用水路で網を入れるとドジョウやメダカが採れ、子どもたちの歓声があがりました。

ひとしきり生き物探しをして、学校に戻り視聴覚室でみんなが採ったものを見せ合いました。今どきは、プロジェクターで直接映し出すことができます。子どもたちが採取したオタマジャクシ、ホウネンエビ、ウマビル、カブトエビ、タニシ、メダカ、アメリカザリガニ等々。これらを投影しながら、それぞれの生活史、生態的なつながり、飼う時の注意などを話しました。

これからどんどんイネが成長し、やがて稲刈りになりますが、この間子どもたちは「何かいるかな?」と目を向けることでしょう。今回は、池田、森田、須藤、内田、賀登勉、賀登環の6名でサポートしました。(賀登環)

梅雨の合間の6月12日(水)は雨が心配でしたが、どうにか持ちこたえ、高階北小学校3年生3クラス91人の「森の自然学習」が実施されました。この学習も9年目を迎えました。川越南文化会館(ジョイフル)に9:30、先生方3名に引率され、元気に子どもたちが到着しました。挨拶、スタッフの紹介、森に入る時の注意などの後「(仮称)川越市森林公園」計画地の「森のさんぽ道」に踏み出しました。

入るとすぐに武蔵野の森をほうふつとさせる樹林が広がります。ここでコナラタッチのゲームです。「一人一本、自分のコナラにタッチしてください。」幹や葉をよーく見ておきます。少し先で林床にいっぱい生えた実生に注目です。

「あ、これコナラの赤ちゃんだ。」みんなが持参したスプーンで、掘ってみます。10cm以上ある根っこにドングリがついたのもありました。ドングリはたねの役割なんだね。

まっすぐのびている木はヒノキ。つまずいてしまいそうなほど土が盛り上がっていて、これはモグラの塚です。ムラサキシキブの花が咲いていて、秋になると紫の実になるよ。

活動場所に着く前にたくさんの自然に出会います。第2武蔵野ふれあいの森周辺でクラス毎に活動地を決め、今日の学習テーマ「身近な自然をさがそう」が開始です。生き物がいっぱい隠れているよ、いろいろな葉っぱを5枚以上集めてね。あちこちに腐りかけた木が積んであって、ここでクワガタを見つけた友達は得意そう。カブトムシの幼虫も見つかったよ。しばらく生き物探しをして、みんなで見せ合います。モリノチャバネゴキブリがたくさんいたかな。ウラナミアカシジミ、シヤクジョウソウ、これらは絶滅危惧種です。カノコガ、ヒラタシデムシ、ハサミムシ、ダンゴムシ、ヤスデ、ミミズなどのクラスもいろいろ見つけました。生き物を見つけてスタッフと話がはずみます。生態的なこともできるだけ伝えようとする、とても正味1時間では足りないというのがスタッフ、子どもの感想です。

今回は、横山、森田、藍谷、池田、青野、関口、松永、沖本、小林、賀登勉、賀登環で対応しました。また、秋にお会いしましょう。

(賀登環)



しっかり挨拶できました



これ、何だろうね 「ハーイ」



この虫、かわいいでしょう



何か、ホジホジしてますね



この朽ち木の下、何かいる



もっと遊びたかったー

【報告】会員の活動

今年もやって来ました田植えの季節

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ



田植え



田んぼに現れたカブトエビ



田んぼに現れたナマズ

今年もやって来ました田植えの季節。かわごえ里山イニシアチブでは、6月1日（土）に福田のCO江戸かわごえ「初雁の里」田んぼで、恒例の田植えイベントを行いました。6月2日（日）もスポーツクラブの田植えイベントを行い、2日間で延べ150人の親子連れでにぎわいました。

当初は、みんな初めての田植えで戸惑いますが5列6列と進むうちに慣れてきて、濟々と田植えが進んでいきます。

子どもたちは、しばらくするとビオトープで

生きもの探しに夢中です。今年も、カブトエビやナマズなど珍しい生きものを田んぼで見かけます。おびただしい数のオタマジャクシやトウキョウダルマガエルが生息しています、田んぼの上空では、トンボや虫ねらいのたくさんのツバメが飛来しています。年を重ねるごとに生物多様性豊かな田んぼの兆しが見られ、うれしい限りです。

かわごえ里山イニシアチブでは、7月7日（土）に生きもの観察会を予定しています。こちらもぜひ親子でご参加ください。（増田純一）

チェーンソー講習

東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊）



座学



実習



参加者と講師の集合写真

東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊では、里山林保全活動に参加される方が安全で効率的に実施できるよう、年に1回チェーンソー講習を開催しています。

昨年に続き、チェーンソーメーカーの株式会社スチール（本社：栃木県河内郡上三川町）と販売店のスチールショップ埼玉（株式会社リプロ、埼玉県新座市）から講師をお招きし、14名の参加者で講習を受けました。

午前に座学として、チェーンソーの燃料、構造、操作、伐倒、服装などを理解した上で、午

後に実技として、エンジンの始動や停止、安全のための操作、玉切り、整備を実践しました。

構成員は毎年実施していることですが、エンジンをかけるだけでも相変わらず緊張します。これだけの研修ではチェーンソーを使った伐倒をマスターできるわけではありませんが、研修を受けた方は、本隊の活動において今後、チェーンソーを積極的に使用することで、安全第一に、技術を高めていただければと思います。

（小瀬博之）

初めての呼びかけの「埼玉県プラごみゼロウィーク」今後の課題



川の中にアシと白いプラごみが



下水の吐口に多くのごみが堆積



新琵琶橋では木にごみが絡まる

昨年、海洋のマイクロプラスチックと、廃プラスチック問題が大きく取り上げられ、海に流れる川のごみ問題に関心が集まりました。川の国埼玉の埼玉県環境部資源循環推進課から、今年、初めて5月末に行われるごみゼロ運動に合わせ「埼玉県プラごみゼロウィーク」実施の呼びかけが、5月中旬に川の国応援団等に行われました。5月30日の「ごみゼロの日」から、国が定める「海ごみゼロウィーク」の期間に合わせ、6月8日の「世界海の日」までの間に「川の国埼玉からプラスチックごみを海に流さない」ことを合言葉に、何らかの取り組みを呼びかけられました。

クリーン&ハートフル川越は、5月22日に、前日の雨で流出したごみの実態を撮影、6月4日に新河岸川を守る会などに、何らかの活動ができないか、呼びかけました。その他の河川の活動団体にも相談しましたが、いずれも急な話で対応できないとの回答でした。呼びかけたクリーン&ハートフル川越の会員も、4日は、月刊かわごえ環境ネット6月号の印刷と発送業務が優先となり、川のクリーン活動はできずに見送りました。

今後の課題として、川越市内の川の国応援団の横の連絡をとり、来年からの効果的な活動に向けた準備が必要と痛感しました。(武田侃蔵)

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

6月22日(水) 9:00-10:00 に第3回事業運営委員会を、同 10:00-12:00 に第4回理事会を福田ビル3階会議室において開催しました。議題が重複するため、一括して主要な議事内容を報告します。

(1) エコプロダクツ川越 2019 への出展

事業所会員のパネル展示は行わないこと、ペットボトルロケットの屋外スタッフの確保、「環境に配慮した行動」チェックシートの謝礼品、昆虫標本は展示しないことなどを確認しました。

(2) 夏の郊外クリーン活動

暑さ対策、天気に応じたルート変更などを臨機応変に行うことにしました。

(3) 設立 20 周年記念事業

実行委員の応募は今のところはないこと、「川

越の自然」新訂版は、前回の編集委員等に協力を呼びかけるとともに、7月中に第1回を開催するため、出版WGについては本紙7月号に改めて公募をかけること、前回のデータ等の流用の扱いなどについて検討しました。

(4) 理事の交代と後任者の決定

川越中央ロータリークラブの鎌田理事が一身上の都合で退任し、7月1日から同団体の長谷川健一氏が後任となる旨の連絡があり、これを承認しました。

【会則】第6条7 役員の任期は、2年とする。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(5) SDGs 対応表 (たたき台)

小瀬より、「環境に配慮した行動」チェックシートにおける各項目とSDGsの17の目標との対応表(たたき台)について説明しました。なお、

事業運営委員会の各事業における SDGs 対応の見直しを行いました。

(7) 会員動向

個人会員1名が入会し、6月19日の会員数は、個人137、民間団体27、事業者23、行政1の合計188会員となりました。

(8) 環境ネットワーク埼玉への入会

4月25日付で認定特定非営利活動法人「環境ネットワーク埼玉」への入会手続きを行い、会費納入を行いました。

(9) 夏の懇親会

会場の確保について、担当の横山副理事長に確認することにしました。(小瀬博之)

社会環境部会

6月の社会環境部会例会は、6月14日(金)13時から、新会員を加えた9人で福田ビルで行われました。

最初に、8月4日に行われるエコプロダクツ川越2019について、まとめ役の横山副理事長からの概要説明と、社会環境部会の参加について調整を図りました。次いで、7月21日の郊外クリーン活動について、担当する菊地理事から説明があり、参加者の登録もありました。

次いで、社会環境部会のコラムについて意見交換し、7月号の社会環境部会のコラムは、井口さんが担当する「グリーンカーテン」について、これからの普及について執筆することにしました。また、4月に行ったパッションフルーツの2回目の講習を6月28日行う予定で、担当者の調整を行いました。次いで、6月2日の川

の一斉水質調査の参加者からの感想、6月4日の「埼玉県プラごみゼロウィーク」が実施できなかった経過についての報告がありました。

次いで、昨年の市内東部地域の視察に続いて、今年は、西部地域の雑木林や川の姿を巡る環境視察を討議、9月20日(金)に25人募集で実施を決めました。視察の内容も新しい視点を加えることが決まり、新人を交えて具体策を協議し、来月の部会で正式に決めることにしました。

次いで、社会環境部会からの政策提言について、代表から今後の討議の視点をまとめたメモが配られ、今後は、行政側を交えた意見交換の場を持つことが確認されました。

次回の例会は7月12日(金)13時より福田ビル3階で行われます。

(社会環境部会代表 武田侃蔵)

自然環境部会

6月例会は14日(金)福田ビル3階にて9名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「(仮称)川越し森林公園」計画地定例活動
5/13(月)12名参加 キンラン・ギンランチェック終了

5/27(月)17名参加 オオバノトンボソウ・イチヤクソウ株数調査
6/10(月)雨中止

②池辺公園定例活動 6/4(火)9名参加 草刈り、ウバユリ株数調査167株

③「春の里山 自然観察&クリーン活動」5/12(日)

「(仮称)川越し森林公園」計画地

月刊かわごえ環境ネット6月号に報告済 新たな試みとして有効でした

④平地林散策と野菜収穫 5/19(日) 県農林振興センター主催 参加者60名 スタッフ5名支援

⑤トンボヤゴ調査 5/24(金) 安比奈親水公園 参加者5名

⑥全国一斉水質調査 6/2(日) 荒川水系16か所、新河岸川水系15か所

⑦今成小学校学習支援 6/11(火) 近隣田ん

ぼ 2クラス61名 スタッフ6名支援 別ページ参照

⑧高階北小学校学習支援 6/12(水)「(仮称)川越市森林公園」計画地 3クラス91名 スタッフ11名支援 別ページ参照

2. 協議事項

①20周年行事関連 自然環境部会有志からも

参加してはどうか、という意見があった

②生き物調査の進め方 トンボのヤゴ調査については同定が非常に難しい。来年度は中止も考慮

動植物のデータのまとめ方について8月下旬にでも勉強会をしてはどうか。

(自然環境部会代表 賀登環)

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事

【トピック①】設立20周年記念事業実行委員会「出版専門委員」募集

かわごえ環境ネットは、2020年8月5日に設立から20周年を迎えます。これを記念して、2020年4月から2021年3月にかけて設立20周年記念事業を実施します。

6月号で全体の募集について案内いたしましたが、7月23日(火)に開催される第1回出版専門委員会に向けて、出版委員を先行して募集します。

出版専門委員の募集

業務:20周年記念出版(仮称)「川越の環境(新訂版)」の編集・発行

応募方法

かわごえ環境ネット事務局(Tel.049-224-5866, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp)へ7月18日(木)までにご連絡ください。

【トピック②】田んぼの生きもの観察会(7月7日)開催

福田の無農薬田んぼやマコモ田んぼ周辺の水路の生きもの調査と観察会を行います。

全国の農村や学校等で「田んぼの生きもの調査」の指導を行い、自然と共生した里山農業を推進するプロのナチュラルリスト、田んぼソムリエの林鷹央講師が生きもの生態をわかりやすく解説します。

会場:高梨農園(川越市福田439)周辺田んぼ
定員:先着30人

参加費:500円(中学生以下、会員無料)

どちらも申込は、電話ではかわごえ環境ネット事務局(Tel.049-224-5866)、メールではかわごえ里山イニシアチブ hatsukarinosato@googlegroups.com

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブとかわごえ環境ネットの共催による生きもの調査です。ぜひご参加ください。

日時:7月7日(日)9:30-12:00(9:00-受付)

集合場所:高梨農園(川越市福田439)

参加費:500円(中学生以上、会員は無料)

【トピック③】「夏の郊外クリーン活動」7月21日(日)開催

「川越市民聖苑やすらぎのさと」周辺でクリーン活動を行います。多くの方の参加をお待ち

しています。

日時:7月21日(日)9:30-11:30

集合場所：川越市民聖苑やすらぎのさと（川越市小仙波 867-1）

参加申込：川越市環境政策課に電話で申してください。（Tel.049-224-5866）

かわごえ環境ネット担当者：渡辺（Tel.049-242-4322）、菊地（Tel.080-5546-2362）



夏の郊外 クリーン活動のお知らせ

かわごえ環境ネットでは年に4回のクリーン活動をしております。
多くの方の参加をお待ちしております。

日時 2019年 7月21日（日）
行程 9時30分 「やすらぎのさと」入口に集合 川越市小仙波 867-1
トングとごみ袋を配布後、グループ毎に活動を開始
※グループと活動コースは指定させていただきます。
11時30分 「やすらぎのさと」で分別、冷茶を飲んで解散いたします。

参加申込 6月26日（水）午前10時から 電話で環境政策課に ☎ 049-224-5866
当日の連絡先 菊地 ☎ 080-5546-2362 メール kikums@beige.ocn.ne.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
かわごえ環境ネット
事務局 川越市環境部環境政策課
Tel 049-224-5866（直通）
2019年5月19日

【トピック④】市民環境調査の参加者募集（ツアーは7月31日） 川越市環境政策課

川越市では、環境に関する基礎データを収集するとともに、身近な環境について考えるきっかけとしていただくことを目的として「市民環境調査」を行っています。ことに、かわごえ環境ネットの会員のみなさまには、平成26年度から続く「気温等観測調査」にご協力いただき、まことにありがとうございます。

今年度も、「川越の暑さを測る」をテーマに、市内の気温等観測調査を実施したいと考えています。つきましては、気温等観測調査にご協力いただける方を募集します。かわごえ環境ネットのみなさまにおかれましては、今年度もぜひご協力いただきますようお願いいたします。

①黒球式熱中症指数計レンタル

熱中症の危険度をはかる熱中症指数計を貸与し、自宅や学校付近の熱中症危険度の測定と、体感による評価を行い、データをご提供いただきます。評価は、昨年度と同様に1日単位で行います。

【対象】市内在住の方

【方法】熱中症指数計による測定

【貸与期間】8月1日（木）から8月30日（金）のうち最長1週間

②まち歩き暑さ測定ツアー

約2~3kmのまちなかを歩きながら、湿度や暑さ指数を測定するとともに、私たちが感じる暑さ（体感温度）を調査します。

【日程】7月31日（水）10:00-12:00

【会場】喜多院周辺

【対象】小学4年生以上（小学生は保護者同伴）で市内在住・在学・在勤の方

【定員】先着15人

【申込】環境政策課にて電話受付（Tel.049-224-5866）

③かشこい暑さ対策自慢

市民のみなさんが実践している、または実践したいと思っている、地球にもお財布にもやさしい暑さ対策について募集します。例：扇風機

とエアコンを併用して、風の通り道を作った。エアコンをいつもの冷房運転から弱冷房除湿運転に変えた。夏休みの宿題の一環で、家族で夏の節電に取り組んだ等

【募集期間】7月1日(月)-9月30日(月)(必着)

【対象】市内在住・在勤・在学の方。

【提出】環境政策課(川越市役所本庁舎5階)

【提出方法】住所・氏名・連絡先(電話番号またはメールアドレス)、在勤・在学の方は勤務先・学校名を明記し、川越市役所環境政策課窓

口・郵送・ファクス・川越市公式ホームページのいずれかよりご提出ください。

宛先 〒350-8601 川越市元町1-3-1

川越市環境部環境政策課環境推進担当

Fax.049-225-9800

【様式】川越市公式ホームページ上の様式をご参考ください。

【取り扱い】提出いただいた内容は、川越市公式ホームページで紹介します(応募が多数の場合、類似のものは取りまとめた掲載といたします)。また、個人情報公表しません。

【トピック⑤】「エコプロダクツ川越2019」に出展(8月4日(日)つばさ館で開催)

今年で7回目の開催となる川越市主催の環境イベント「エコプロダクツ川越2019」が、8月4日(日)10:00-15:00に環境プラザ「つばさ館」(川越市鯨井782-3)で開催されます。主に児童に環境をアピールする場として、2階「リサイクル体験工房」で会員団体とともにワークショップメインの出展をします。内容は次の通りです。

1. 本会の活動パネル展示
2. ペットボトルロケット制作と飛ばし実験
3. 東洋大学「こもれびの森・里山支援隊」木工作、触れるスズメバチ標本展示
4. パイオニア株式会社 カーナビ解体体験

5. 社会環境部会 発電体験
6. 「環境に配慮した行動チェックシート」実施(謝礼はアクリルたわし)

【スタッフ募集】当日協力ができる方は横山(Tel.049-246-9319)までお知らせください。



自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日)

日時:7月8・22日(月)9:30-12:30(8月は休止)

集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動(毎月第1火曜日)

日時:7月2日・8月6日(火)9:00-12:00

場所:池辺公園(川越市池辺1302)

問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★キノコの観察会

日時:7月6日(土)9:00-12:00

場所:「(仮称)川越市森林公園」計画地(川越市今福1304-1ほか)

講師:西田誠之氏、大久保彦氏、稗島英憲氏

定員:先着30人、経費:100円

申込:環境政策課(Tel.049-224-5866)

★田んぼの生きもの観察会

日時:7月7日(日)9:30-12:00

場所:高梨農園(川越市福田439)周辺田んぼ

詳細は、本紙12面のトピック②参照

★虫の観察会

日時：7月28日（日）9:00-12:00
場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地
講師：大塚豊氏、本間幸治氏、谷津弘子氏
申込：環境政策課（Tel.049-224-5866）
川越市の生き物調査の一環で共催行事

★甲虫調査

日時：8月4日（日）9:00 集合
集合場所：安比奈親水公園（川越市安比奈新田140-1 地先）池入口付近
講師：新井浩二氏
問い合わせ：過（Tel.049-246-1155）

会合

◆広報委員会（2018年7月度）

日時：7月3日（水）9:00-10:00
場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース（川越市元町1-3-1）
*次回は8月7日（水）9:00-10:00 同所

●社会環境部会（2019年7月度）

日時：7月12日（金）13:00-15:00
場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）
*次回は8月9日（金）13:00-15:00 同所
*会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会（2019年7月度）

日時：7月12日（金）15:00-17:00
場所：福田ビル3階会議室
*8月は休止。次回は9月13日（金）15:00-17:00 同所
*会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2019年度第4回）

日時：7月17日（水）9:00-10:00
場所：福田ビル3階会議室
*次回は8月21日（水）16:00-17:30 大黒屋食堂（川越市仲町5-2）、17:30-19:00 同所で懇親会

◆理事会（2019年度第5回）

日時：7月17日（水）10:00-12:00
場所：福田ビル3階会議室
*次回は9月27日（金）15:00-16:00 川越市役所地階修養室

◆設立20周年記念事業実行委員会出版専門委員会（第1回）

日時：7月23日（火）13:30-15:30
場所：川越市役所東庁舎2A 会議室（川越市元町1-3-1）

【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

ホームページ <http://blog.canpan.info/forest-musashi/>

◎森林公園かんさつ会

日時：①7月15日（月・祝）9:40 集合、14:30 ごろ解散、②8月4日（日）10:20 集合、15:00 ごろ解散、
集合：国営武蔵丘陵森林公園南口前休憩所（入園前受付）
参加費：①無料、②200円（入園料別途）
持ち物：お弁当持参（レストランもあります）、雨天決行（雨具持参）、観察用具（ルーペなど）
①公園と考える会共催。今年も講師に大塚豊さん（日本野鳥の会東京・フリーカメラマン）を

迎え、ヤマユリの花や樹液に集まる昆虫などを観察します。②考える会主催。講師にクモ研究家の新井浩司さんを迎え、トリノフンダマシなどを探します。

◎夜の鳴く虫観察会（公園と考える会共催）

日時：8月24日（土）16:30-19:30（受付16:00-）
場所：南口休憩所（南口駐車場内）
参加費：無料（入園料、駐車場代別）
持ち物：懐中電灯、虫よけスプレーなど
今年も講師の解説でクツワムシやスズムシの鳴き声や姿を楽しみましょう。事前申込制です。

森林公園管理センター「夜の鳴く虫観察会」係
あてに申してください。(Tel.0493-57-2111)



夜の鳴く虫観察会

<https://www.shinrinkoen.jp/event/20170424130109.html>



NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
<http://blog.canpan.info/forest-musashi>

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

(年間)

日時：①7月13日(土)16:00-17:30 ごろ、②9月14日(土)9:30-12:30 ごろ、③10月12日(土)9:30-12:30 ごろ

場所：明見院(今福677)近く

内容：農作業(B級品のお土産付き)

会費：保険代100円、クラブ員1家族1,000円

2019年度予定表

月	日	活動内容予定
7	13	16:00からの作業、作業後懇親会(皿、はし持参)
8		(お休み)
9	14	ブロッコリー、キャベツ畑の片付け
10	12	大根畑の片付け、ビニールはがし等
11	9	里芋畑の片付け 芋煮会

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して河川を汚さない環境にやさしいお米作り、田園風景の保全や地域づくりの活動を行っています。入会は随時受け付けています。

★田んぼの生きもの観察会

日時：7月7日(日)9:30-12:00(9:00-受付)

詳細は、本紙12面のトピック②参照

◎定例会(田んぼ懇談会)

日時：7月27日(土)16:00-18:00

場所：未定

会員もそうでない方も、活動に興味のある方はどなたでも参加いただけます。

8月の理事会や定例会はお休みです。



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

東洋大学小瀬研究室(川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊)

問い合わせ：小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

こもれびの森・里山支援隊 <http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

◎【親子・孫子と一緒に参加するイベント】里山体験と木工教室

実施日時：7月27日(土)9:00-12:00

集合時間・場所：9:00、東洋大学川越キャンパス

内容：里山体験(森林の観察と手のこ、剪定ばさみ等を用いた小径木の伐採)と大学内の森林

資源で作る木工(ネームプレートなど)

対象：子どもと保護者(親子・孫子と一緒に参加できます。小学生以下のお子さまには保護者の同伴をお願いいたします。)

定員：先着10組程度

経費：無料

用意するもの：

①森林内の活動に適した身支度（汚れてもよい長袖、長ズボン、靴、手袋（軍手など））、②手ぬぐいやバンダナ（ヘルメットの下に身に付ける）、③タオル、飲み物（熱中症対策）、④作品などを持ち帰る袋、箱など、⑤あれば自前の用具（ヘルメット、手のこ、剪定ばさみなど）

申込：準備の都合上、7月20日までに mlkomorebistf@toyo.jp へ、下記メールアドレスに参加を希望する行事名とともに、代表者の①住所（市区町村）、②電話番号、③メールアドレスと、参加される全員の①お名前（お名前のよみも）、②性別、③（お子さまのみ）学校・学年をお知らせください。

◎エコプロダクツ川越 2019（出展）

日時：8月4日（日）10:00-15:00

場所：環境プラザ「つばさ館」

内容：木工作、スズメバチの標本展示など

かわごえ環境ネットとの共同出展です。詳細は、本紙14面トピック⑤をご覧ください。

◎里山林保全活動（初回参加可）

日時：8月31日（日）8:30 集合-16:00 作業終了
対象：本学専任教職員・学生、市民等（高校生以上）

場所：東洋大学川越キャンパス4号館前

実施場所：東洋大学構内「こもれびの森」（川越市鯨井2100）

作業内容：枯損木の伐採、下刈り、つる切り、希少植物の保護、ごみ拾いなど

定員：15名

費用：無料

持ち物：森林内の作業に適した身支度（詳しくはWebで）

申込：準備の都合上、開催日前週の週末までに mlkomorebistf@toyo.jp へ、参加を希望する行事名とともに①名前②住所③電話番号④性別⑤生年月日⑥（学生のみ）学部・学科・学年をお知らせください。

*Webサイト（組織概要・開催案内・開催報告）

<http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

*Facebook ページ（最新の活動報告）

<https://www.facebook.com/komorebisatoyama>

*Twitter（中止連絡などの緊急告知）

<https://twitter.com/toyokomorebi>



Web サイト



Facebook ページ
2018年度予定表



Twitter

月	日	活動内容予定
7	6	8:30-16:00, 里山林保全活動（申込締切）
7	27	9:00-12:00, 【親子・孫子と一緒に参加するイベント】里山体験と木工教室
8	4	10:00-15:00, エコプロダクツ川越 2019 出展
8	31	8:30-16:00, 里山林保全活動

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：7月2日（火）・19日（金）、8月6日（火）・16日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：7月14日・8月11日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第4土曜日

日時：7月27日（土、百万灯夏祭り街なかクリーン活動と併催）・8月24日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎百万灯夏祭り街なかクリーン活動

日時：7月27日（土）・28日（日）13:30-15:30

川越駅東口アトレ横歩道橋下から札の辻まで。近くのごみ集積所で分別して解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9:00より2時間。参加

できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(090-2521-5770)へ。
 ①7月28日(日)9:00-11:00。新河岸川起点から三日月橋まで、上流域清掃。観音下橋集合、上下流に分かれて作業。月由陸橋下広場隅にて

分別収集。解散。
 ②8月25日(日)9:00-11:00。新河岸川貝塚橋左岸たもと集合。田島橋まで、両岸堤防ごみ拾い。終点近くの空き地で分別、解散。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

当会では、小畔川の八幡橋下流域の定点調査を中心に魚類や水生昆虫などの調査を続けています。いつも何かしら発見があり面白いです。ウェダーや網などは当会で用意いたします。

◎旧霞ヶ関北小学校前親水ゾーン(水辺再生地)調査

日時：7月15日(月・祝)10:00-12:00

旧霞ヶ関北小学校前親水ゾーン。ここは水辺再生された場所でワンドが形成されていて、魚

種は豊富です。この時期はオイカワ、カマツカ、ブルーギルなどが見られます。

2019年度活動予定

月	日	曜日	活動内容予定
7	15	月・祝	10:00-12:00 旧霞ヶ関北小前親水ゾーン(水辺再生地)
9	22	日	9:30-12:00 イベント：魚とり遊び(一般の方対象)
10	13	日	10:00-12:00 未定
11	10	日	10:00-12:00 八幡橋魚類調査
12	8	日	10:00-12:00 川歩き

松岡壽賀子(社会環境部会)

問い合わせ：高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

◎かんきょうサロン

日時：7月18日(木)13:30-15:30

会場：高階南公民館1階会議室1号(川越市藤原町23-7)

参加費：無料

今回と次回のテーマは、「水について」です。色々な水を、水質実験を通して、透明な水の中に、どんなものが含まれているのか目に見えるようにします。そこからいろいろ考えていきます。

次回は、8月8日(木)10:00-12:00 予定

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、小雨決行)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

①7月14日(日)10:00-12:00

古代蓮が咲き、カイツブリやカルガモのヒナも無事に育っています。暑いですが楽しみましょう。

②8月11日(日)10:00-12:00

サギの渡りが始まり、チュウサギ、アマサギなど他の月に少ないサギが観察できます。

広報委員会からのお知らせ

●かわごえ環境ネット会員限定メールサービス

かわごえ環境ネット会員限定で、本紙並びに同封資料のメールでの送付(またはリンク)サ

ービスを実施しています。

希望の方は、かわごえ環境ネット事務局 (kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp) にメールで

件名を「かわごえ環境ネット会員メールサービス希望」として、会員氏名（団体名称）と送付を希望するメールアドレス（添付ファイルの最大容量は5MB以上を推奨）をおしらせください。同時に会員になられる方は、入会申込を同時にお願いいたします。



メールサービス受付（このQRコードを読み取ると宛先、件名、本文に記入項目が入ります。）

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2019年8月号（No.154、8月6日発行予定）の掲載原稿は、7月15日（月）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメールリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メールリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局にお問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎5階）に提出してください。

●かわごえ環境ネットソーシャルメディア

Instagram、Twitter、Facebook ページを活用しています。



Instagram



Twitter



Facebook ページ

●かわごえ環境ネット Web サイト



<https://kawagoekankyo.net>

●原村政樹監督作品「いのちの岐路に立つ 核を抱きしめたニッポン国」上映

日時：7月12日（金）まで（火曜定休）10:30 上映

入場料：一般1,600円、シニア（60歳以上の方）1,100円、大学生1,000円、高校生500円

場所：川越スカラ座（川越市元町1-1-1）

いのちの岐路に立つ

核を抱きしめたニッポン国



●核爆・核廃者らが語る
「核が問いかける 戦後日本の隠された真実」とは何か—
広島・長崎への原爆投下からフクシマまでを辿ると、核を抱きしめたニッポン国の輪郭が浮かぶ。反核運動の分裂を経て、刷新した核をめぐる歴史に「平和」の内実を問い、融合・共存の道を探る。
8月11夕刻、「安らかに眠れませぬ 核兵器廃絶の日まで 全原発廃炉の日まで」と記した“とうろろ”が
広島-元安川の川面を流れていく……。

長編ドキュメンタリー映画
「核・シロウオ」完成公開！

いまや、放射線管理区域マークが日本列島におおいかぶさっている。保守・革新やイデオロギー、若者男女を問わず、だれもが「いのちの岐路」に立つ。
“真ん中”や“真ん中”の「死の罠」に恐怖しつづらせた人びとへの講演と核社会に生かす生けるものへのメッセージ。

■日時：6月29日（土）～7月12日（金）
10:30 上映 「火曜定休」
*初日、原村政樹監督の舞台挨拶あり。
■入場料：一般 1,600円
シニア 1,100円（60歳以上の方）
大学生 1,000円、高校生 500円

川越市元町1-1-1 川越スカラ座 本川越駅より
東武バスにて「大手町」&「一善」下車
☎ FAX049-223-0733 <http://k-scalazz.com/>



川越スカラ座



映画公式サイト

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

●おわび（7月3日追記）

松岡壽賀子様からいただいた予告原稿を編集者の不手際で掲載することができませんでした。紙版の原稿は差し替えなどの対応は難しいので、PDF版の原稿について予告を追記し、7月3日に差し替えました。松岡様におかれましてはたいへん申しわけありませんでした。（小瀬博之）

イベントカレンダー (7月3日~8月17日)

日	月	火	水	木	金	土
★: 会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●: 会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆: 理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎: 会員主催のイベント等 ○: その他 詳細は個別の記事をご覧ください			7/3 ◆9:00 広報委員会	7/4	7/5	7/6 ◎8:30 里山林保全活動(こもれび隊) ★9:00 キノコの観察会
7/7 ★9:30 田んぼの生きもの観察会	7/8 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	7/9	7/10	7/11	7/12 ◎10:30「いのちの岐路に立つ」上演(最終日) ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	7/13 ◎16:00 おいしく楽しく農業体験
7/14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	7/15 ◎9:40 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎10:00 旧霞ヶ関北小学校前親水ゾーン調査 ○本紙8月号投稿期限	7/16	7/17 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	7/18 ◎13:30 かんきょうサロン(松岡) ○20周年記念出版専門委員応募締切	7/19 ◎13:30 まち美化啓発運動	7/20
7/21 ★9:30 郊外クリーン活動	7/22 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	7/23 ◆13:30 出版専門委員会	7/24	7/25	7/26	7/27 ◎9:00 里山体験と木工教室(こもれび隊) ◎13:30 まち美化啓発運動・百万灯祭りクリーン活動 ◎16:00 定例会(かわごえ里山)
7/28 ★9:00 虫の観察会 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎13:30 百万灯祭りクリーン活動	7/29	7/30	7/31 ◎10:00 まち歩き暑さ測定ツアー	8/1 ◎黒球式熱中症指数計レンタル(8/30)	8/2	8/3
8/4 ★9:00 甲虫調査 ★10:00 エコプロダクツ川越2019 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	8/5	8/6 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/7 ◆9:00 広報委員会	8/8 ◎10:00 かんきょうサロン(松岡)	8/9 ●13:00 社会環境部会	8/10
8/11 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	8/12	8/13	8/14	8/15 ○本紙9月号投稿期限	8/16 ◎13:30 まち美化啓発運動	8/17

月刊 かわごえ環境ネット 2019年7月号 No.153

発行日 2019年7月1日(2019年7月3日修正) 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net/>